

平成30年度

印旛地区教育研究会

生活科研究部
定期総会要項

平成30年5月8日（火）

会場：印旛教育会館

次 第

- 1 開会の言葉
- 2 研究部長あいさつ
- 3 議長選出・書記任命（議長：1部会）（書記：1部会）
- 4 報告事項
 - （1）平成29年度事業並びに決算報告
 - （2）平成29年度会計監査報告
 - （3）平成29年度1部会から5部会活動報告
 - （4）平成29年度千葉県生活科学研究部活動報告
 - （5）その他
 - ・平成30年度 1部会から5部会生活科学研究部役員報告
- 5 協議事項
 - （1）平成29年度事業並びに決算承認に関する件
 - （2）平成30年度事業並びに予算承認に関する件
 - （3）平成30年度本部役員選出に関する件
 - （4）その他
- 6 新旧役員あいさつ
- 7 来賓あいさつ
- 8 閉会の言葉

※連絡事項

報告事項（１）平成２９年度事業

- 1 研究テーマ 「子どもが自ら学び共に生きる力を育む生活科の創造」
*主体的な学び *対話的な学び *深い学び *社会に関かれた教育課程
- 2 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - (1) 気付きの質を高める生活科学習づくり
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・自然の不思議さや面白さを味わわせる活動の場の工夫
 - ・体験的な学びを通じた学習の工夫
 - (2) 育成すべき資質・能力（学習指導要領の改訂に向けて）
 - ・何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）
 - ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - ・どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - (3) 一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - (4) 他教科及び幼保との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（スタートカリキュラム）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者・障害者等との交流）
- 3 活動の重点
 - (1) 次期学習指導要領の改訂をふまえ、指導内容の見直し改善を図る。
 - (2) 地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - (3) 安全対策の一層の充実を図る。
 - (4) 生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

4 平成２９年度事業

月 日	曜日	事業名	会 場	時 刻	内 容
4月19日	水	役員会議	印旛教育会館	15:30	総会打合せ等
5月9日	火	研究部総会	印旛教育会館	15:00	事業・予算・役員承認等
6月27日	火	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	15:00	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
8月1日	火	生活科研修会	千葉市民会館	9:00	研修会・講演
8月23日	水	研究集会	ホテル日航成田	9:00	提案・協議・報告等
11月1日	火	授業研修会	吉岡小学校	13:30	授業参観・協議
2月20日	火	役員会議	印旛教育会館	15:30	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

報告事項(1)平成29年度決算報告<3>

1 収支決算

収支総額	支出総額	差引残高	備考
298,000 円	298,000 円	0 円	

2 収入内訳

項目	予算額	決算額	比較	備考
印教研補助金	298,000 円	298,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合計	298,000 円	298,000 円	0 円	

3 支出内訳

項目	予算額	決算額	比較	備考
研修費	255,000 円	262,000 円	-7,000 円	各部会補助・研修費等
広報活動費	13,000 円	11,880 円	1,120 円	研究部会報発行料
通信費	10,000 円	9,200 円	800 円	郵送料等
事務費	10,000 円	9,920 円	80 円	印刷用紙 事務用品購入等
会場費	10,000 円	5,000 円	5,000 円	会場借用費等
合計	298,000 円	298,000 円	0 円	

報告事項(2)平成29年度会計監査報告

証拠書類も整理され、帳簿類の記載も誤りがなく、適正である。

会計監査委員

押本和美

露口真由美

報告事項（3）平成29年度1部会から5部会活動報告

（1）1部会生活科研究部 活動報告

（2）2部会生活科研究部 活動報告

（3）3部会生活科研究部 活動報告

（4）4部会生活科研究部 活動報告

（5）5部会生活科研究部 活動報告

報告事項（4）平成29年度千葉県生活科研究部活動報告

※千葉県生活科教育研究協議会 松戸大会

期 日 平成29年11月14日（火）

会場校 松戸市立矢切小学校

研究主題 「はばたけ！未来を創る子どもたち」
～見つける・つながる・実現する～

報告事項(5)その他

平成30年度 各部会生活科研究部 役員名簿

役職等		1部会	2部会	3部会	4部会	5部会
部長 1名	氏名	澤田 彩夏	沼澤 薫	松岡 真紀子	池田 啓子	松田 淳子
	学校名	染井野小	新山小	滝野小	笹引小	山梨小
副部長 2名	氏名	及川 達彦	井野 綾	佐藤 祐子	小棚 悦子	石井 悠喜
	学校名	千代田小	吾妻小	高花小	二州小	みそら小
2名	氏名	弦間 千由紀	本田 朋実	中村 義治	小林 真里	日暮 幸子
	学校名	山王小	富里南小	南山小	八街北小	南小

協議事項（２）平成３０年度事業計画（案）

- 1 研究テーマ 「はばたけ！未来を創る子どもたち」
～見つける・つながる・実現する～
- 2 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - （１）主体的・対話的で深い学びをめざす
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・カリキュラムマネジメント
 - ・体験的な学びを通じた学習の工夫
 - （２）育成すべき資質・能力（学習指導要領の改訂に向けて）
 - ・何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）
 - ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - ・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - （３）一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - （４）他教科及び幼保との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（スタートカリキュラム）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者・障害者等との交流）
- 3 活動の重点
 - （１）次期学習指導要領の改訂をふまえ、指導内容の見直し改善を図る。
 - （２）地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - （３）スタートカリキュラムの充実（幼・保・小の連携）
 - （４）生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

4 平成３０年度事業

月 日	曜日	事業名	会 場	時 刻	内 容
4月18日	水	役員会議	印旛教育会館	15:30	総会打合せ等
5月 8日	火	研究部総会	印旛教育会館	15:00	事業・予算・役員承認等
6月29日	金	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	15:00	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
8月1日	水	研修会	未定	9:00	研修会・講演
8月28日	火	研究集会	ホテル日航成田	9:00	提案・協議・報告等
11月		授業研修会	未定	午後	授業参観・協議
2月19日	火	役員会議	印旛教育会館	15:30	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

協議事項(2)平成30年度予算(案)

1 収入内訳

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
印教研補助金	298,000 円	298,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

2 支出内訳

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
研 修 費	260,000 円	255,000 円	5,000 円	各部会補助・研修費等
広報活動費	13,000 円	13,000 円	0 円	研究部会報発行料
通 信 費	10,000 円	10,000 円	0 円	郵送料・資料配付料等
事 務 費	10,000 円	10,000 円	0 円	印刷用紙 事務用品購入等
会 場 費	5,000 円	10,000 円	-5,000 円	会場借用費等
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

平成30年度本部役員

役 職	氏 名	職 名	学 校 名	備 考
部 長				
副部長				
〃				
事務局長				
幹事				
〃				
監査				
〃				
顧問	池田 幸夫		酒々井町教育委員会	